

講演要旨

『水中音響と海洋生物調査～音で可視化する海洋課題～』

我が国は国土面積こそ 37 万 8 千平方キロメートルと世界第 61 位だが、排他的経済水域いわゆる EEZ の面積は領海を含めると 447 万平方キロメートルで世界第6位である。

そこには日本人が慣れ親しんできた水産資源だけでなく、洋上風力発電などのエネルギー資源や海底鉱物資源、未知の遺伝子資源が存在している。

持続的に海を利用していくためには、海を知らなければならないが、海中では光や電波は遠くまで届かないため人工衛星からのリモートセンシングのような観測はできなかった。このため、水中での通信、探査、制御のあらゆる場面で音響技術が使われてきた。

本講演では、海中の音響リモートセンシング、海洋価値の経済循環への組み込み、海洋ビッグデータの構築について紹介し、音響技術が今後のビジネスチャンスとなるばかりでなく、海洋の未来を切り開いていく重要なツールであることを示したい。